# ◇ 遺言書の検認を申し立てる方へ ◇

## 1 手続きの概要

遺言書(公正証書による遺言を除く。)の保管者又はこれを発見した相続人は、遺言者の死亡を知った後、遅滞なく遺言書を家庭裁判所に提出して、その「検認」を請求しなければなりません。また、封印のある遺言書は、家庭裁判所で相続人等の立会いの上開封しなければならないことになっています。検認とは、相続人に対し遺言の存在及びその内容を知らせるとともに、遺言書の形状、加除訂正の状態、日付、署名など検認の日現在における遺言書の内容を明確にして遺言書の偽造・変造を防止するための手続です。遺言の有効・無効を判断する手続ではありません。

# 2 申立てできる方

遺言書の保管者 または 遺言書を発見した相続人

3 申立先

遺言者の最後の住所地の家庭裁判所

4 申立てに当たり提出をお願いするものは、次のとおりです。

※審理のため必要な場合は、戸籍等の書類や郵便切手等の追加提出をお願いすることがあります。

 申立書	_
下記5に記載の書類	
収入印紙 800円分×遺言書の通数	
郵便切手 82円×2枚×相続人等の人数分(申立人含む)	

## 5 添付書類

- ※同じ戸籍等は1通で足ります。
- ※申立前に入手が不可能な戸籍等がある場合は、申立後に追加提出することでも構いません。

#### 【共通】

- ①遺言者の出生時から死亡時までのすべての戸籍(除籍,改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)
- ②相続人全員の戸籍謄本(全部事項証明書)
- ③遺言者の子(及びその代襲者)で死亡している方がいる場合, その子(及びその代襲者)の出生時から 死亡時までのすべての戸籍(除籍, 改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)

# 【相続人が遺言者の(配偶者と)第二順位相続人(直系尊属)の場合】

④遺言者の直系尊属(相続人と同じ代及び下の代の直系尊属に限る(例:相続人が祖母の場合,父母と祖父))で死亡している方がいる場合,その直系尊属の死亡の記載のある戸籍(除籍,改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)

# 【相続人が不存在の場合, 配偶者のみの場合又は(配偶者と)第三順位相続人(兄弟姉妹及びその代襲者としてのおいめい)の場合】

- ④遺言者の父母の出生時から死亡時までのすべての戸籍(除籍,改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)
- ⑤遺言者の直系尊属の死亡の記載のある戸籍(除籍, 改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)
- ⑥遺言者の兄弟姉妹に死亡している方がいる場合、その兄弟姉妹の出生時から死亡時までのすべての 戸籍(除籍、改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)
- ⑦代襲者としてのおいめいに死亡している方がいる場合、そのおい又はめいの死亡の記載のある戸籍 (除籍、改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)

#### または

## ①「認証文付き法定相続情報一覧図の写し」

②相続人全員の戸籍謄本(全部事項証明書)(※遺言者の死亡日から3か月を経過している場合)

| 法定相続情報証明制度をご利用される場合は,く | >必要書類(戸除籍謄本,住民票除票等)を収集し,く|| > 法定相続情報一覧図を作成のうえ,く|||>法務局に申出をしてください。

この制度についてご不明な点がある場合は,法務局のホームページをご覧になるか,お近くの法務局(金沢地方法務局を076-292-7869)までお問合せください。

## 6. Q&A

- **Q1.** 相続人には、検認手続が行われることをだれが連絡するのですか。また、相続人のなかには、高齢で出頭できない人がいるのですが、問題ありませんか。
- A. 相続人には、申立後、裁判所から検認期日(検認を行う日)の通知をします。 申立人以外の相続人が検認期日に出席するかどうかは、各人の判断に任され ており、全員がそろわなくても検認手続は行われます。
- Q2. 検認期日には何を持って行けばよいのですか。
- A. 申立人は、遺言書、申立人の印鑑、下記Q4に記載の収入印紙そのほか担当者から指示されたものを持参してください、特に、遺言書は忘れないように、必ず持参してください。
- Q3. 検認期日には、どのようなことを行うのですか。
- A. 申立人から遺言書を提出していただき、出席した相続人などの立会のもと、 封筒を開封し、遺言書を検認します。
- Q4. 検認が終わった後は、どうすればよいのですか。
- A. 遺言の執行をするためには、遺言書に検認済証明書が付いていることが必要ですので、検認済証明書の申請(遺言書1通につき150円分の収入印紙と申立人の印鑑が必要となります。)をしてください。

		~ / I C	.]					
		受付印	遺言	書の検	認	申	<u> </u>	書
			(この欄に収入印紙	低800円分を貼ってく	ください。	)		
収入印	紙	円	-					
予納郵便!	<b></b>	円		俱)	ちった印紙	に押印し	ないでく	ださい。)
準口頭		関連事件番号 平原	成 年 (家	)第				号
		77						Ů
		家庭裁判所						
		御 中	申 立 人 (又は法定代理人など)					印
平成	年	月 日	の記名押印					
添付書	類							
		<del>-</del>	都 道					
	本籍	·	府県					
申	住所	<del>-</del> = -		電話		(	)	
.1.	,,,,					(		方)
立	連絡先	〒 –		電話		(	)	
					大正			方)
人	フリガナ 氏 名				昭和 平成	年	月	日 生
					十八			
	職業							
遺	本 籍	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	都道					
~=	不日	J.	府 県					
<u>_</u>	最後の住所	:			•			
言	フリガナ				大正 昭和	年	月	日生
	氏 名				平成			
者	死亡年月日	平成 年	月 日					

(注) 太枠の中だけ記入してください。

	申	立	て	0	趣	旦日			
遺言者の自筆証書に	よる遺言	言書の検	認を求め	めます。					
	申	立	て	の	理	由			
1 申立人は,遺言者の			です。						
	2 申立人は、下記の理由により、遺言者の遺言書を保管しているので、検認を求めます。 なお、遺言者の相続人等は、別紙の相続人等目録記載のとおりです。								
<ul><li>(1) 申立人が遺言者から 受けて預かり、下記の</li></ul>				年	月_	日に自筆の	の遺言書の	交付を	
(2) 申立人が平成	年	月	日に丁	「記の場	所で発見	した。			
(3) 遺言者が貸金庫に保 <sup>4</sup> から下記の場所で保管			遺言者の	)死後,	申立人が	平成年_	月	<sup>日</sup>	
(4) その他 (								)	
				記					
(場 所)									

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲んでください。

# 相続人等目録

*	本 籍	都	道						
	平 耤	府	県						
	住 所	〒 −			電話		(	)	方)
	連絡先	<del>-</del> -			電話		(	)	
	フリガナ					大正 昭和	年	月	方) 日 生
	氏 名			被相続人		平成			
	職業			被相続八 との続柄					
*	本 籍	都 府	道 県						
	住 所	〒 –			電話		(	)	方)
	連絡先	〒 −			電話		(	)	
	フリガナ					大正 昭和	(		方)
	氏 名					昭和 平成	年	月	日生
	職業			被相続人 との続柄					
*	本 籍	都 府							
	住 所	〒 –			電話		(	)	方)
	連絡先	〒 –			電話		(	)	方)
	フリガナ 氏 名					大正 昭和 平成	年	月	日生
	職業			被相続人 との続柄					
*	本 籍	都 府	道 県						
	住 所	〒 −			電話		(	)	
	連絡先	<del>-</del> -			電話		(	)	方)
	フリガナ					大正	(		方)
	氏 名			<b>Y</b>		昭和平成	年	月	日生
	職業			被相続人 との続柄					
*	本 籍	都 府	道 県						
	住 所	<del>T</del> –			電話		(	)	方)
	連絡先	〒 –			電話		(	)	
	フリガナ 氏 名					大正昭和	年	月	方) 日 生
	氏 名   職 業			被相続人 との続柄		平成			
				C 32/19F1L1					

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、相続人、受遺者、利害関係人の区別を記入してください。

# 記載例

		受付印	遺	言 #	<b>o</b>	検	認	申	立	*
			(この欄に収	双入印紙80	0円分を貼・	ってくだ	ごさい。)			
収入印		Pi Pi				(肚へ	たED紙に	∽畑印ὶ	たいでく	ください。)
1州1五八人	<del>20.1.</del>	1 1				(別立っ)	/CH1/KK	-1TH1 C	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	· /cev.。/
準口頭		関連事件番号 平成	文 年(家	)第						号
平成 С		家庭裁判所 御中 月 〇 日	申 立 (又は法定代理人 の 記 名 押		甲	野	_	郎		FII
添 付 書		書類についてん てください。	は, このぺ	ージのタ	た頭の「 <u>:</u>	遺言書	書の検	認」(	の 5 (2	2)で確
	本 籍	〇 〇	ß 道 f 県 OO市	i 00町 C	)丁目 〇番均	地				
申	住 所	〒 000 - C	)OOO )市 OO町 C	)丁目 〇番	〇号	電話	000	( 00	00)(	DOOO 方)
立	連絡先	〒 −			Ē	電話		(	)	方)
人	フリガナ 氏 名	コウ ノ 甲 野	イチ ロウ ー 郎				て正 召和 子成	〇 年	〇 月	〇日生
	職業	会 社 員								
遺	本 籍	〇 〇	ß 道 f 県	i OO町 C	)丁目 〇番均	地				
	最後の住所	申立人の住所	fと同じ							
言	フリガナ 氏 名	コウ ノ 甲 野	タ ロウ 太 郎			(B)	四和 〇	) 年	〇 月	〇日生
老	死亡年月日	平成 〇 年	〇 月 〇 日							

(注) 太枠の中だけ記入してください。

# 記載例

_	申	並	て	の	趣	旦日			
遺言者の自筆証書に	よる遺	言書の検	認を求る	めます。					
	申	立	て	Ø	理	由			
1 申立人は,遺言者の	長5	<u>B</u>	です。						
	2 申立人は、下記の理由により、遺言者の遺言書を保管しているので、検認を求めます。 なお、遺言者の相続人等は、別紙の相続人等目録記載のとおりです。								
※(1) 申立人が遺言者から 受けて預かり、下記の	昭和 場所で係	・ 平 R 管 し て	成 <u>)</u> きた。	<b>)</b> 年(	<mark>O</mark> _月_	<u>O</u> _日に自筆の	の遺言書の交付を		
(2) 申立人が平成	年	_月	_日に	下記の場所	听で発見	した。			
(3) 遺言者が貸金庫に保 から下記の場所で保管			遺言者の	の死後,ほ	申立人が	平成年_	月日		
(4) その他 (							)		
			=	記					
(場 所) <u>OO県 OO</u>	<u>市_Q</u>	<u>)町 0</u>	TA_C	<u>O番_O</u> +	<u> </u>	人自宅の金庫			

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲んでください。

*	本 籍	O O		
相	住 所		(	书)
続	連絡先	〒 - 電話 (	( )	
1/94	フリガナ	コウ ノ イチ ロウ		方)
人	氏 名	<b>甲野</b> 一郎 「 <sup>昭和</sup> )	〇年 〇	月 〇 日 生
	職業	<b>会 社 員</b> 被相続人 との続柄 <b>長</b>	男	
*	本 籍	O O 都 道 府 俱 OO市 OO町 OT目 O番地		
相	住 所	〒 OOO - OOOO 電話 OO県 OO市 OO町 OT目 O番 OO号 OOアパート	( : <b>OOO号室</b>	力)
続	連絡先	電話 電話 (	( )	方)
	フリガナ	コウノジロウ 大正 昭和	〇年 〇	
人	氏 名	中野 次郎 平成		,
	職業	会社員被相続人 との続柄二	男	
*	本 籍	O O 都道 府(果) OO市 OO町 OT目 O番地		
相	住 所	OO県 OO市 OO町 OT目 O番 OO号 OOコーポC	〇〇号室	)
続	連絡先	電話 電話 (	( )	方)
r	フリガナ	オッノハナコ 大正 田和 サーフ	〇年 〇	
人	氏 名	乙野花子   で成り     毎日時   被相続人		
	職業	<b>一般</b> との続柄	女	
*	本 籍	都 道 府 県		
	住 所	〒 一 電話 (	( )	方)
	連絡先	〒 一 電話 (	( )	方)
	フリガナ	大正 昭和	年	月 日生
	氏 名	平成		
	職業	被相続人 との続柄		
*	本 籍	都 道 府 県		
	住 所	〒 一 電話 (	( )	4-)
	連絡先	〒 一 電話 (	( )	力)
	フリガナ	大正	<i>T</i>	方)
	氏 名	昭和   平成	年	月 日生
	職業	被相続人 との続柄		

<sup>(</sup>注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、相続人、受遺者、利害関係人の区別を記入してください。